

## 社会科学研究所報告

- I 本研究所所長佐藤信行教授は、1977年8月末で本学を退職、広島大学に転じられた。これに伴ない、藤田忠教授(経営学)が所長に任ぜられた。尚、同教授は1978年3月の本研究所会議において所長に再指名された。任期は2年間。
- II 本研究所研究員、山本真鳥氏(文化人類学)はハワイ、イースト・ウエスト・センター研究員に転じられた。山本氏は1978年1月初旬渡航、今夏から南洋諸島の現地調査に向われる予定である。
- III 山本研究員の渡米に伴ない、資料管理担当助手に須貝栄氏が任ぜられた。須貝氏は1977年3月、本学大学院行政学研究科博士前期課程修了。
- IV 刊行物 『社会科学ジャーナル』第15号、特集行政学、204ページ。鶴飼信成元学長の行政学大学院設置に関わる特別寄稿、辻清明、田中守、一瀬智司、橋本哲一各教授による行政学特集を収録。尚、巻頭には、本号編集集中に逝去された故藤田若雄教授を追悼する一文が、学長、本研究所所長により寄せられている。1977年3月発行。

### 〔後 記〕

- 藤田若雄先生の訃報に接したのは、昨年1月、本誌15号、特集行政学が印刷行程に入った頃のことであった。われわれは驚き、悲しみ、またオロオロしながら前号の巻頭に学長、社会科学研究所長の追悼の辞を掲載した。引き続き、追悼論文集の編集作業に取り組み、今日に至った。
- 巻頭に寄せられた氏原正治郎東京大学教授による故藤田若雄教授の業績研究は、今後の研究の出発点となろう。これまで本誌は、本学の教員、研究職員以外には誌面を提供しないことを原則としていたが、本号の性質上、氏原教授に特に寄稿をお願いした。誌面の都合で分割掲載となったが、病いと多忙のなか長文を寄稿された氏原教授に感謝したい。
- 12号以来編集を担当し、本号を以て終ることとなった。次号からは、水野綱子研究員が担当する。 [1978.春 森山記]